

シンメトレル錠 50mg
シンメトレル錠 100mg
シンメトレル細粒 10%

【この薬は？】

販売名	シンメトレル錠 50mg Symmetrel Tablets 50mg	シンメトレル錠 100mg Symmetrel Tablets 100mg	シンメトレル細粒 10% Symmetrel Fine Granules
一般名	アマンタジン塩酸塩 Amantadine Hydrochloride		
含有量	1錠中 50mg	1錠中 100mg	1g 中 100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

(<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、パーキンソン症候群治療剤、精神活動改善剤、抗A型インフルエンザウイルス剤とよばれる薬です。
- ・この薬は、ドパミンの濃度を高め、ドパミンの脳内の神経伝達を増強することでパーキンソン症候群の症状である手足のふるえ、筋肉が硬くなる、動作緩慢、歩行障害などを緩和します。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質であるドパミン、ノルアドレナリン、セロトニンに作用し、脳梗塞（こうそく）後遺症としてあらわれる意欲や自発性の低下を改善します。
- ・この薬は、A型インフルエンザウイルスが細胞内に入り込む過程を阻害し、細胞内でウイルスが増殖するのを防ぎます。

- ・次の病気の人に処方されます。

パーキンソン症候群

脳梗塞後遺症に伴う意欲・自発性低下の改善

A型インフルエンザウイルス感染症

〔パーキンソン症候群、脳梗塞（こうそく）後遺症に伴う意欲・自発性の低下の改善に使用する場合〕

- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断し、使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

〔A型インフルエンザウイルス感染症に使用する場合〕

- ・指示どおりに飲み続けることが重要です。
- ・A型インフルエンザウイルス感染症の予防に使用する場合
インフルエンザワクチンの入手が困難な場合や、ワクチン接種ができない病気などがある人、ワクチンが接種されてからその効果が獲得されるまでの期間だけに使用されます。
- ・A型インフルエンザウイルス感染症が発症してから使用する場合
発症後48時間以降に使用しても十分な効果が期待できません。発症後、速やかに使用し始める必要があります。また、この薬が効かなくなるA型インフルエンザウイルスが発現することを防ぐために、必要最小限の期間（長くても1週間）使用されます。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○〔A型インフルエンザウイルス感染症に使用する場合〕

- ・この薬は、インフルエンザウイルスのうちA型にだけ有効で、他の型のインフルエンザウイルスには無効です。
- ・医師がインフルエンザの治療に特に必要と判断してこの薬の使用を決めます。
- ・インフルエンザにかかる前にこの薬を予防的に使用することがありますが、インフルエンザワクチンが有効となるまでの数週間の補助的な使用が目的です。
- ・この薬をインフルエンザの予防や治療に短期間使用していた人で自殺を考えるようになった事例が報告されています。うつ状態などの精神に変調をきたしている場合や精神状態に作用する他の薬を服用中の場合には特に気をつけてください。
- ・抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザにかかった時は、異常行動を発現した例が報告されています。異常行動による転落等の方が一の事故を防止するために以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・異常行動があらわれるおそれがあります。また、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。

- ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落等の事故に対する防止対策を講じてください。

- この薬は、けいれん発作をおこすことがあるため、てんかんのある人や過去に てんかんがあった人、けいれん発作をおこしやすい人は発作を誘発または悪化 することがありますので、患者の皆様や家族の方は注意してください。
- この薬には、ヒトで催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）が疑われる報告がありますので、妊婦または妊娠している可能性がある人は使用することはできません。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・透析を必要とするような腎臓に重篤な障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人、授乳中の人
 - ・過去にシンメトレル錠または細粒に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・心臓血管に障害のある人（うっ血性心疾患など）または末梢性浮腫のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・低血圧の人
 - ・精神疾患のある人
 - ・閉塞隅角（へいそくぐうかく）緑内障の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

特に腎臓に障害のある人は、飲む間隔が延びて飲む回数が少なくなることがあります。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

【パーキンソン症候群に使用する場合】

販売名	シンメトレル錠 50mg			シンメトレル錠 100mg			シンメトレル細粒 10%		
	初期量 100mg	維持量 *200mg	最高量 300mg	初期量 100mg	維持量 *200mg	最高量 300mg	初期量 1g	維持量 *2g	最高量 3g
一日量									
飲む回数	1日 1~2 回	1日 2回	1日 3回	1日 1回	1日 2回	1日 3回	1日 1~2 回	1日 2回	1日 3回

*通常服用しはじめて1週間後

【脳梗塞（こうそく）後遺症に伴う意欲・自覚性低下の改善に使用する場合】

販売名	シンメトレル錠 50mg	シンメトレル錠 100mg	シンメトレル細粒 10%
一日量	100～150mg	—	1～1.5g
飲む回数	1日 2～3回	—	1日 2～3回

この薬を12週間使用しても効果が得られない場合は、使用が中止されます。

【A型インフルエンザウイルス感染症に使用する場合】

販売名	シンメトレル錠 50mg	シンメトレル錠 100mg	シンメトレル細粒 10%
一日量	100mg	100mg	1g
飲む回数	1日 1～2回	1日 1回	1日 1～2回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

次のような症状があらわれた場合には、すぐに受診してください。

○神経筋症状：

反射亢進（こうしん）、運動不穏（落ち着かない動作）、けいれん、ジストニー姿勢（からだか意志に反して動く）、嚥下障害（飲み込みにくい）、ミオクロヌス（からだの一部がピクッと動く）など

○急性精神病症状：

錯乱（考えがまとまらない）、見当識障害（自分のいる場所や時間、自分や人の名前などがわからなくなる）、幻視（実際にはないものが見えるように感じる）、せん妄（意識が乱れる）、攻撃性、意識レベルの低下、昏睡（意識がなくなる）など

○その他：

肺浮腫（息切れ）、呼吸窮迫（きゅうはく）（息苦しい）、頻脈（胸がドキドキするなど）、不整脈、高血圧、悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）、尿閉（尿が出にくい）など

なお、心停止、心突然死の報告もあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬をパーキンソン症候群や脳梗塞後遺症で飲んでいる人は、急に飲むのを中止すると、悪性症候群（38℃以上の発熱、意識がうすれる、筋肉のこわばりなど）や錯乱（考えがまとまらないなど）、失見当識（自分のいる場所や時間、自分や人の名前などがわからなくなる）、精神状態の悪化、せん妄（意識が乱れるなど）があらわれたり、パーキンソン症候群の人では症状

が悪化することがあります。この薬を中止する場合は、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。

- ・この薬の飲む量が増えた場合、特に中枢神経系の副作用（睡眠障害、幻覚など）があらわれやすくなりますので注意してください。
- ・めまい、ふらつき、立ちくらみ、眼のかすみなどがあらわれることがありますので、自動車の運転、機械の操作、高所作業など危険を伴う作業は行わないでください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかい しょう (テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
視力低下を伴うびまん性 表在性角膜炎 しりょくていかをともなうびまんせい ひょうざいせいかくまくえん	眼の異物感、まぶしい、涙が出る、視力の低下
角膜浮腫様症状 かくまくふしゅようしょうじょう	眼のかすみ、眼の異物感、眼の痛み、視力の低下
心不全 しんふぜん	からだがだるい、全身のむくみ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、動く時の動悸
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
腎障害 じんしょうがい	頭痛、顔のむくみ、眼がはれぼったい、尿量が減る
意識障害（昏睡を含む） いしきしょうがい（こんすいをふくむ）	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、意識がなくなる
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる

妄想 もうそう	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思いこみ、非現実的なことを強く確信する
せん妄 せんもう	意識の混乱、意識が乱れる
錯乱 さくらん	意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない
痙攣 けいれん	けいれん
ミオクロヌス	筋肉がピクピクする、寝入りばなの手足のけいれん
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだのだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、食欲不振、全身のむくみ、けいれん、脱力感
頭部	頭痛、意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、意識がなくなる、意識の混乱、意識が乱れる
顔面	顔のむくみ
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼のかすみ、眼の痛み、眼の異物感、視力の低下、眼がはれぼったい、まぶしい、涙が出る、白目が黄色くなる
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、飲み込みにくい、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	息苦しい、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息切れ、動く時の動悸、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	関節の痛み、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	赤い発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉がピクピクする、筋肉の痛み
尿	尿が黄色い、尿量が減る、尿が赤褐色になる
その他	陰部の痛み、判断力の低下、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する、寝入りばなの手足のけいれん、異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する

【この薬の形は？】

販売名	シンメトレル錠 50mg	シンメトレル錠 100mg	シンメトレル細粒 10%
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤 	—
直径	7.1mm	8.1mm	—
厚さ	3.3mm	3.5mm	—
重さ	0.12g	0.17g	—
色	白色	白色	白色
識別コード	CG 211	CG 212	—

【この薬に含まれているのは？】

販売名	シンメトレル錠 50mg	シンメトレル錠 100mg	シンメトレル細粒 10%
有効成分	アマンタジン塩酸塩		
添加物	セルロース、ポビドン、第三リン酸カルシウム、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール		乳糖、ポビドン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サンファーマ株式会社
くすり相談センター

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）

電話番号：0120-22-6880

ホームページ：<https://jp.sunpharma.com/>